

研究課題名	患者情報システムを用いた集中治療部の機能評価（JIPAD事業）
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 鈴木 秀鷹
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2028年 3月
研究の意義・目的	日本の集中治療室（ICU）では、施設ごとの診療体制にばらつきがあり、診療の質や患者の予後に差がある可能性が指摘されています。本研究では、患者情報管理システム（PDMS）を活用して、全国のICUから重症患者の診療データを収集・分析し、日本ICU患者データベース（JIPAD）を構築します。これにより、ICUの診療状況を可視化・標準化し、今後の診療の質の向上や医療政策の基盤づくりに貢献することを目的としています。
研究の方法 (対象期間含む)	本研究は、全国のICUにおいて日常診療で記録された患者情報をもとに、診療の傾向や質を評価する観察研究です。各施設で匿名化されたデータを専用のサーバーに集約し、日本ICU患者データベース（JIPAD）として解析します。研究対象期間は2015年4月1日から2028年3月31日までとなります。
①試料・情報の利用 目的および利用方法 ②利用し、又は提供する 試料・情報の項目 ③試料・情報の取得 の方法 ④利用する者の範囲 ⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	<p>① 本研究では、通常診療で取得されたICU入室患者の診療情報を、各施設で仮名加工のうえ集約し、日本ICU患者データベース（JIPAD）として統合・解析します。データは匿名化された状態で利用され、必要に応じて他の研究機関へ提供する場合があります。</p> <p>② 年齢、性別、病名、慢性疾患の有無、入室経路、手術歴、ICU入室後24時間以内の重症度スコア（APACHE II、SAPS IIなど）、人工呼吸器・透析・体外循環装置などの使用有無・期間、ICU在室日数、転帰、施設の構造・人員体制など</p> <p>③ 通常診療で記録された電子カルテ情報・患者情報管理システム（PDMS）をもとに、施設内で仮名加工のうえ取得</p> <p>④ 利用する者の範囲： 武蔵野赤十字病院およびJIPADに参加する全国約150施設の研究担当者（研究責任者・研究分担者）ならびに日本集中治療医学会ICU機能評価委員会・JIPADワーキンググループの構成員</p> <p>⑤ 武蔵野赤十字病院 救命救急科 副部長 鈴木秀鷹 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 武蔵野赤十字病院 氏名 鈴木 秀鷹</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>